平成30年度放課後等デイサービス自己評価結果（事業所）

児童デイサービスわかば

作成　平成31年3月6日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			一か所に偏らないよう、活動スケジュールを組んでいる。	個別のスペースも必要と考えるが、出来る範囲で対応を検討していく。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			基準より多く配置している	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			床は全面フラットにし、扉は引き戸、トイレには車椅子から自己移乗できるように、手すりを設置している。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			公休の職員には、事前に意見を求めるようにしている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート結果を職員に周知し、皆で改善出来るよう努めている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				今回から、会社のホームページにて公表しており、今後も続けていく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		会社全体の第三者委員の方はいるので、評価を得られる体制を整えたい。また、ボランティア、実習生等があった場合に、アンケートをとれるように整えていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			関連のある研修があれば周知し、可能な限り参加出来るように努めいている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○		研修に参加して、今後使用できるように努める。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			食育、制作、音楽、運動など、年間計画に基づいて、個別課題と組み合わせて提供している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			１日利用では、公共交通機関を使用した外出や、昼食作りなどを行っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			ニーズや必要性に応じて組み合わせている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○			１日利用の時に時間を確保できていないので、今後実施できるよう検討する。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		適宜行い、気になる点は共有するようにしている。	毎回振り返り出来るよう、時間を設けて行っていきたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○				
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			行事予定等の情報は、ホームページ上で得ている。連絡調整は即対応できるような体制をとっている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○		受け入れ実績がない。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			全員ではないが、園へ出向いて行うようにしている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			求めにに応じて行っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		発達障害者支援センター主催の研修に参加するようにしている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○		機会があれば、今後参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			主に、連絡帳、電話、送迎時を利用し、伝え合っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか			○	上手くいっている支援は伝えるようにしている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		全員ではないが、保護者同伴の行事を開催し、保護者同士の交流の場を設けている。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		体制整備をし、迅速かつ適切に対応する準備はしている。	周知に関して整備されていないので、今後検討し、実施していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月1回、わかばだよりを発行している。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○			会社の規定に沿って行っている。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			各児童に合わせたコミュニケーションの方法をとっている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			会社全体の夏祭りに、地域の方々がいらしてくれている。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				保護者への周知の点については、掲示等の検討をしていきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			児童利用中と、職員のみの時にも行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年1回、内部研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○		保護者からの申告で対応しており、今後医師の指示書が必要なケースがあった場合は対応していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			インシデント報告書により共有している。	